



第2回 MTB-O 世界選手権が10月にオーストラリアで開催された。日本代表として参加した樋口一志(朱雀OK)がレースを語る。



ロング予選をフィニッシュする樋口一志

変わります。今回の大会でも私ですら下りで50km以上出ていました。もちろん舗装道ではありません。エリートランナーの新隆徳でさえ道の上で現在地が全くわからなくなる、といったことがあったそうです。

ナビゲーション、マップリーディングからプランまでとにかくスピードが要求される世界最速のオリエンテーリング!! それがMTB-Oです。

日本チーム

日本チームは7月に選考会を行い選手が決定しました。代表選手は男性

樋口一志、新隆徳、東村宏、宮林勝、宮原崇、足立辰彦

女性

細谷みさき、吉野晶子、藤原瑞穂あとサポートとして野畑清敬さんが参加してくれました。

女性の細谷、藤原の2名は2度目の世界選手権、それ以外はワールドカップ等も含めて初の海外でのMTB-Oだったのですが、Foot-Oやトライアスロン、アドベンチャーレースなどで海外慣れしているメンバーだったので、みんな体調を崩すこともなく非常にリラックスしてレースに臨んでいました。

世界選手権の日程

10月18日	開会式
10月19日	ロング予選
10月20日	ロング決勝
10月21日	休養日
10月22日	ミドル決勝
10月23日	リレー、閉会式

テラインとコース

大会はヴィクトリア州メルボルンから北西に100km程のBallarat周辺で行われました。

テラインはユーカリの林と植林された松林の混在するなだらかな丘陵地帯で、沢沿いには無数に砂金を掘った跡のあるところでした。

ちょうど10年前にFoot-Oのワールドカップが開かれて、樋口と新はその時に日本代表で走っています。

森の中では野生のカンガルーがいて、今回もトレーニングやレース中にも出没していました。

トラック(未舗装の道)は全体に堅い土のところが多くて、植林地の広い道はグラベル(土の上に小石が播かれている状態の道)でした。ミドル、リレーの行われたテラインは細かい道が発達したところがかなりあり、テクニカルなコースでした。

2004 マウンテンバイク世界選手権大会
2004年10月15日-24日
オーストラリア・バララット

MTB-O とは?

文字通りマウンテンバイクに乗って行うオリエンテーリングです。基本的には地図に記載されている道(道路から小径まで様々)を走ります。

こう書くとオリエンテーリングをやっている方なら“なんだ、道走りだけの簡単なオリエンテーリングか”と思うかもしれませんが、ところが現実とは違います。まずマウンテンバイクで走りながら地図を読むのは簡単ではないのです。舗装道路なら誰でも読めます、ところがダートの道になるとそうは行きません。下りのシングルトラック(細い小径)だったら...全く読めません。路面を見て走るだけで精一杯です。その上MTB-Oでは登り下り、路面によってスピードが極端に変わります。急な登りで歩くようなスピードから、一転して下りのトップスピードまで速度が



レース

ロング予選では 6km はありそうな
ログもあり、ミドルやリレーでは細か
いナビゲーションも要求され、日本
チームにはかなり厳しい結果となりま
した。

ロング予選で男子は全員予選落ち
(女子は予選は自動的に全員通過)、ミ
ドルも 71 位/99 人が最高でした。リレ
ーでは男子チームはそれなりに健闘し
たのですが残念ながらミスパンチで失
格となってしまいました。

個人的にはリレーでミスをしなが
らもようやくトップ比 120%台が出せた
ので、少し世界が見えてきた感じがし
ました。逆に一番 simple なコースだった
ロング決勝のコースでは全く歯が立た
ない状態でした。トップは MTB のクロ
スカントリーでも日本のオリンピック
代表と変わらない、ひょっとすると上
ぐらいの走力があるように思います。



リレーに使用された地図の一部

次回大会へ向けて

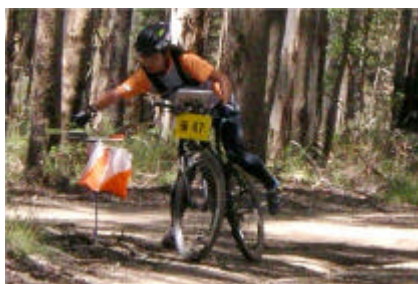
MTB-0 ではかなり高いナビゲーション、オリエンタリングの能力が要求されます。強豪国の選手は Foot-0 の経験もかなりあってジュニア世界選手権に出ていた選手なんかもけっこういました。

とりあえずはナビゲーションの面で近いところにはないと、いくら脚があってもどうにもならないです。もちろん自転車の能力(脚力、テクニック etc)もかなり重要ですが、ある程度まではトレーニング量に比例するのでどちらかというとナビゲーションを磨

く方が難しいと思います。

あと、日本では MTB-0 そのものを
する機会が少ないので MTB-0 特有の課題
(地図を読めるところが限られる、
Foot-0 より地図が読みにくい、プラン
の仕方、マップメモリー etc)を練習
するのがけっこう難しい、ということ
もあります。

体力のあるオリエンティアが脚があ
って地図読みのセンスのあるトライア
スリート、アドベンチャーレーサーあ
たりを鍛えないとなかなか世界と戦う
のは厳しいです。興味のある方、ぜひ
一緒に走りましょう。またひとつ、違
う世界を見ることが出来ますよ。



もっと詳しいことが知りたい方は
MTB-0 のページ(前回代表でもある相川
君によるページ)
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/Sou.Aikawa/>

あるいは私の HP を見てください。
<http://homepage3.nifty.com/forestrun/index.htm>

世界 MTB-O 選手権結果

男子ロング予選

10 月 19 日			
25.8km 登り670m 13 コントロール			
1	Berger, Alain	SUI	77:06
2	Korchagin, Viktor	RUS	77:49
3	Tomecek, Lubomir	CZE	78:05
85	樋口一志	JPN	108:07
88	束村 宏	JPN	113:06
92	宮林 勝	JPN	117:57
93	宮原 崇	JPN	119:01
94	足立辰彦	JPN	123:57

女子ロング予選

19.8km 登り51m 6 コントロール			
1	Viner, Emily	AUS	60:58
2	Coupat, Laure	FRA	62:12
3	Finance, Caroline	FRA	64:49
47	吉野晶子	JPN	94:33
49	藤原瑞穂	JPN	98:20
52	細谷みさき	JPN	105:29

女子ロング決勝

26.7km 登り 590m 14 コントロール			
1	Dannowski, Anke	GER	89:03
2	Tommola, Paivi	FIN	91:14
3	Bornhak, Antje	GER	91:15

45	藤原瑞穂	JPN	136:06
46	吉野晶子	JPN	138:16
48	細谷みさき	JPN	142:05

男子ミドル

20.1km 登り590m 16 コントロール			
1	Jackson, Adrian	AUS	51:47
2	Berger, Alain	SUI	52:33
3	Korchagin, Viktor	RUS	53:33
71	樋口一志	JPN	74:09
79	束村 宏	JPN	83:24
83	宮林 勝	JPN	86:07
84	新 隆徳	JPN	88:01
85	宮原 崇	JPN	89:55
87	足立辰彦	JPN	106:54

女子ミドル

14.9km 登り450 m 12 コントロール			
1	Gigon, Michaela	AUT	53:08
2	Coupat, Laure	FRA	53:22
2	Allison, Belinda	AUS	53:22
47	藤原瑞穂	JPN	78:55
48	細谷みさき	JPN	82:50
49	吉野晶子	JPN	89:24

男子リレー

10 月 23 日			
22.5-23.5km 登り230m 15 コントロール			
1 Finland 171:53			
	Sarkkinen, Timo	58:48	
	Makila, Jussi	56:34	
	Tervala, Mika	56:31	
2 Czech Republic 175:30			
3 Australia 175:31			
25 Japan 317:38			
	宮原 崇	113:19	
	宮林 勝	103:53	
	足立辰彦	100:26	
JPN Japan M18 mp			
	新 隆徳	75:28	
	樋口一志	72:44	
	束村 宏	mp	

女子リレー

10 月 23 日			
16.5-17.5km 登り165m 14 コントロール			
1	Finland	161:08	
2	Austria	167:19	
3	Australia	167:44	
12	Japan	253:02	
	藤原瑞穂	80:05	
	吉野晶子	90:47	
	細谷みさき	82:10	

(樋口一志)